公開用

令和３年度第２回　高砂市文化振興審議会

日　時　令和４年１月１４日（金）１６：３０～
場　所　高砂市役所分庁舎１階　大会議室１

出席委員	会　長	田端　和彦	委　員	松下　尚平
	副会長	藤村　清春	委　員	中野　哲郎
	委　員	岩見　一美	委　員	松本　光弘
	委　員	渡邊　紀子	委　員	髙橋　賢吉
欠席委員	委　員	天野　富美男	委　員	中谷　文昭

出席事務局職員

市長	都倉　達殊
健康こども部長	福原　裕子
健康こども部健康文化室長	藤井　繁弘
健康こども部健康文化室文化スポーツ課長	石橋　多希士
健康こども部健康文化室文化スポーツ課係長	永光　麻衣子
健康こども部健康文化室文化スポーツ課	髙橋　由佳
教育部教育推進室長	阿部　伸也
教育部学校教育室学校教育課長	矢野　仁之

協議事項

１　開　　会
２　あいさつ
３　委員委嘱自己紹介
４　会長副会長選出
５　議　　題
　（１）令和４年度事業予定について
　（２）文化施策に関する市民アンケートについて
６　そ　の　他
　（１）高砂市公共施設全体最適化計画について

（２）文化芸術推進基本計画の方針について

（３）今後のスケジュール

７　閉　　会

○司会

失礼いたします。お時間少々早いですが、皆様おそろいになりましたので、始めさせていただきます。

審議会の前に、毎回ご唱和いただいておりました謡曲「高砂」ですが、今回はコロナウイルス感染症対策で、皆さんでの発声での合唱を行わずに、心の中で謡っていただくということで、音楽をお流しいたしますので、ご唱和を心の中でいただけたらと思っております。詞章につきましては、本日の資料の中にお入れしておりますので、ご確認をお願いいたします。お手元おそろいでしょうか。

では、よろしくお願いいたします。

（謡曲「高砂」清聴）

○司会

ありがとうございました。座って失礼いたします。

では、改めまして、ただいまより令和３年度第２回高砂市文化振興審議会を開催いたします。委員の皆様におかれましては、ご多用のおりにご出席いただき、誠にありがとうございます。

本審議会の公開についてですが、高砂市文化振興審議会の運営に関する規定に基づき公開とさせていただいております。なお、本日傍聴希望者の方はおられません。

本審議会の開催に当たりまして、都倉市長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○市長

失礼いたします。市長の都倉でございます。

皆様には、本日、公私とも大変お忙しい中、高砂市文化振興審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

平素より、文化行政をはじめ、本市の市政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、委員の皆様方には、本文化振興審議会におきまして、本市の文化振興に関しまして、終始熱心にご審議をいただくとともに、貴重なご意見をいただいておりますことを、重ねて感謝申し上げます。

本市では、平成２３年に高砂市文化振興条例を制定、平成２５年に高砂文化振興基本方針を策定し、「文化を大切にし、ふるさとを愛する人が集うまち高砂」の実現のため、様々な施策、事業を進めてまいりました。そして昨年４月にスタートしました第５次高砂市総合計画に掲げる豊かな生きがいとつながりを感じるまちの実現に向けまして、本審議会をはじめ市民の皆様のご意見を伺いながら、伝統ある高砂特有の歴史・文化を受け継ぎ、大切に育てて後世に伝えていくとともに、そのすばらしさを市内外にＰＲしてまいりたいと考えております。

他方で長く続くコロナ禍は、私たちの生活に様々な制限と変化をもたらしております。文化振興につきましても例外ではなく、感染拡大防止の観点から市民の芸術文化活動が、中止や縮小を余儀なくされるなど大きく影響を受けております。いまだ終息の兆しが見えない中、昨年度には兵庫県と共同で芸術文化公演再開緊急支援事業助成金により、芸術文化活動の早期再開を支援いたしました。今後も市民の安全を第一としながら、文化の興隆に資する取組について在り方を検討してまいります。

本日は、令和４年度の予定事業についてご審議いただく予定でございます。また、昨年３月に策定した公共施設全体最適化計画についてのご報告と、来年度に策定予定の文化芸術推進基本計画についても、ご説明させていただきたいと思っております。

委員の皆様には、忌憚のないご意見と活発なご議論をお願い申し上げまして、開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会

ありがとうございました。

それでは、次第の３、委員の委嘱へ移らせていただきます。本来でありましたら、委員お一人ずつに委嘱状をお渡しするところではございますが、今回は新型コロナウイルス感染症対策として、委嘱状を机上に置かせいただいておりますので、よろしくお願い申し上げます。

２年間よろしくお願い申し上げます。

新しい委員の方もおられますので、各委員より簡単に自己紹介をお願いしたいと存じます。

（委員紹介）

（会長、副会長の選出）

○司会

ありがとうございました。

ここで、市長は他の公務がございますため、退席をさせていただきます。

○市長

どうぞよろしくお願いします。

（市長　退席）

（職員紹介）

○司会

本日ですが、委員、委員がご欠席の申出がございました。出席者が８名とご欠席者が２名によりまして、審議会規則第５条第２項の規定により、過半数の出席により会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、お手元の資料の確認をお願いいたします。

（資料確認）

○司会

本日は、感染症対策として、距離をお取りいただき席を配置しております。発言をいただく際には、挙手の上、マイクをお使いただきますようにご協力をお願いいたします。

また、現在感染者が急拡大している状況ですので、会議時間をできる限り短くできればと思っておりますので、円滑な会議の進行にご協力をお願い申し上げます。

では、ここからの議事進行は、審議会規則第５条第１項により、会長にお願いしたいと思います。

会長、よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、私のほうで議事進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

先ほども申し上げましたように、忌憚のないご意見をどんどん言っていただきたいと思っております。ただ、先ほど司会からございましたように感染対策がございますので、あまり大きな声ではなく、マイクを使って皆さんに聞こえるようにお話いただければと思っております。

事前に皆様方には、お正月の前だったと思うのですけども、資料を送らせていただきまして、ご意見を賜りたいということでお願いをさせていただいておりました。今日の議題に入ります前に、まず、前回の審議でいろんなご質問などもいただいておりますので、まず事務局からその説明をいただきたいと思います。

すみません。前回の審議会の振り返りでございます。お願いいたします。

○事務局

事務局でございます。前回の審議会の中で、回答ができていなかった件についてご説明をさせていただきます。資料１でございます。令和３年度事業・令和４年度予定事業をご覧ください。事前に送付させていただいたものから、一連番号が変更となった箇所がございますのでご注意ください。

委員より、３２ページ、１７７番、日本語教室についてご質問がありました。昼間実施においては５人程度、夜は１５人が参加されたと報告いたしました。仕事などの関係から夜間のほうが出やすいということも考えられるため、夜の日本語教室に変更することも考えるべきとのご意見をいただいております。

回答といたしまして、夜間の日本語教室は、昼間に仕事をされる方を中心にご参加いただいております。昼間は参加人数が少なくなっておりますが、家族滞在の主婦を中心にマンツーマン指導を行っております。昼間・夜間それぞれのニーズに合わせた講座を実施しておりますので、どちらも必要と考えております。

○会長

以上でよろしいですか。

まず、委員、よろしいでしょうか。今このようなご対応でございましたが。

○委員

はい、結構です。

私もこれができたときの第１回に指導で来ましたので、やはり夜の働きが終わってから、年配者の方が一生懸命日本語を覚えたいところが重要でありますし、いろんな書類を出します場合も、その日本語の勉強は必要かと思いますので、夜もしていただけたらいいなと思っておりました。ありがとうございます。

○会長

ありがとうございました。

一応、今のご回答で大丈夫ということでございます。それから、先ほど委員からございましたように、ご回答のとおりニーズに合わせた実施をお願いしたいと思います。

そうしましたら、続けてよろしいですか、お願いいたします。

○事務局

委員より、７ページ、３５番、文化まつり事業等各種イベントへの参加について、市民音楽祭に中学校の合唱部が出演したと報告いたしました。

いただきましたご意見が、出演した合唱部の中学校は、市内の学校ですかという、東播、特に高砂は合唱（学生たち）が盛んでないように思われますので、意欲的に活動されるようになると良いなと思います。様々なこと、了承しないわけではありませんが、実際に子どもたちと接することがないので様子が分かりません。「高砂市への誇りと愛着を深めていきます」であってほしいです。というものです。

回答といたしまして、市内（宝殿中学校、鹿島中学校）の合唱部の出演が中心ですけれども、過去には加古川中学校からの出演もありました。高砂への誇りと愛着を深めてまいりたいと思います。

以上です。

○会長

すみません。今このようなご回答でした。いわゆる、ご回答としては市内の合唱部ということでございますが、よろしいでしょうか。

○委員

はい。

合唱部もどんどんなくなる、あるいはなくなったということを聞いておりますので、今後どうなるのかなと思っております。盛んになる方向に何かご指導というか、あるのでしょうか。市から。

○会長

学校のことなので、教育委員会とも関わりますので、もし分かる範囲で結構ですので、もし分かればで結構ですので。

○事務局

失礼します。学校のほうでもできる限り合唱部を、存続をしていけたらというところですけども、やはり今おっしゃられていましたように、生徒数の減少という中で、希望する生徒も少なくなってきている現状もございますので、今後は音楽等を通じてしっかり興味を持てる生徒を増やしていけたらというところです。鹿島中学校ですとか、そういったところでは合唱ですとか、音楽部という形で存続しているわけですけども、今後も歌う喜びというのは大切にしていけるように、音楽の授業も通じてやりながら、興味持ってる子どもを育ていきたいとは考えております。

○委員

はい、ぜひとも前向きに育ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。

それでは、引き続きまして、ご回答よろしくお願いいたします。

○事務局

３ページ、１６番について、委員、委員よりご質問がありました。放課後子ども教室について、運営委員会での協議内容を報告いたします。

高砂市放課後子ども教室運営委員会において、各委員が属する団体などの令和２年度の活動報告から、新年度はどう実施すべきか話し合いがありました。

協議内容は、各団体などでコロナ禍による中止や延期が多いが、感染症予防対策についてはマスクの着用、消毒の徹底、検温など徹底して行い実施している。感染症予防対策を徹底してしっかりやれば実施してよいのではないかというご意見、それから、児童保護者同伴でする事業などでは、児童のみならず保護者へも消毒も徹底してやり、問診も行い、家族の状況なども聞く中で安心感も生まれ、コミュニケーションも逆に進められる場になる。コロナで中止や延期で萎縮するよりも、逆に

この機会を利用してよい方向に進められないものか、というご意見をいただいております。

○会長

ありがとうございました。

先ほど、最初のほうに市長のお話でも、やはりコロナ禍の中で様々な行事が延期、あるいは中止ということになっておりました。ただ、今お話がありましたように、この機会を利用してよい方向に進められないかと、こういうことも考えているということで、どうぞ。

○事務局

すみません。回答が途中で抜けておりました。申し訳ございません。

まとめとしてございました。聞いておりますところでは、コロナ禍で各団体とも中止、延期が相次いでいましたが、単に中止、延期ではなくて、コロナ禍対策を徹底して活動できるようにすべき。コロナ禍の中でも、やり方次第で活動は可能になる。対策をしっかりして、密を避けて、心をどうつなぐかを考えていくべき。コロナ禍においては、実施するにあたり、いろいろな面からの情報収集も大切。となりましたことをご報告いたします。

○会長

私も伝えかけたところ、今のと共通しているのですけども、単に延期、中止じゃない方向をということです。ただ、オミクロンという新しい株が出てきて、また様子も変わってきていますので、常に、情報収集しながら対応していくことは多分変わらざるを得ないかなと、よく朝令暮改ということを批判的に捉える方も多いのですけど、私これに関しては朝令暮改致し方ないと思っておりますので、先ほどご回答がありましたように、単に延期、中止ではなく前向きなほうは考えていくのですけども、もちろん状況が変われば、それに合わせて応じていくという、この仕組みが一番大事なのかと思っております。

ご質問いただきました委員、そして委員、いかがでしょうか。

○委員

前向きに情報収集しながら対策を考えてくださったらいいかと思っております。よろしくお願いいたします。

○会長

委員、いかがでしょうか。

○委員

状況を見ながら、その都度決定してしまったからではなくて、前向きな方向で柔軟性をもって進んでいっていただきたいと思います。

○会長

どうもありがとうございました。

以上が、私のほうでお聞きしております。前回のご質問に対する、十分お答えが出なかった部分に関するお答えということでございますが、何か今のご報告につきまして、ほかの委員からでも結構でございますが、ご意見、ご質問がありましたらお受けいたしますが、いかがでございましょうか。

（「なし」の声あり）

○会長

それでは、次第に基づきまして、次の議題に入っていきたいと思います。お手元の次第をご覧ください。

議題（１）でございます。令和４年度事業予定について、まずは事務局からご報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局

事務局です。令和４年度予定事業についてご説明いたします。

資料１「令和３年度事業・令和４年度予定事業」をご参照ください。それでは、令和４年度予定事業について主なものをご説明いたします。

１ページ、１番、高砂学ですが、活動編５回、講座編２回、寺子屋編１回、謡曲編４回を実施する予定で調整しております。

内容につきましては、現在調整中となっておりますが、活動編といたしまして、今年度も実施いたしました「宮本武蔵が残した野田派二天一流の指導、体験」、産業振興課との合同事業として「高砂の海産物を使った親子料理教室」等を予定しております。

続きまして、同ページ、４番、市民教養講座についてですが、『文化関係の講座を１回以上実施』と目標を数値化し、取り組んでいくとのことでございます。

次に、２ページ、９番、高砂こども狂言ワークショップは当初予定で延期となっておりましたが、現在実施中でございます。来年度は実施回数を増やすことなどにより感染症対策を行い、実施する方向です。

次に、３ページ、１４番、俳句、短歌、古文の学習ですが、学習指導要領に基づき教師が国語科の授業の中で児童生徒の指導しています。教師は児童生徒の実態に基づき、教科書等を活用した授業を丁寧に行っています。作品の発表等については各学校の授業実践の中で実施しているところです。

次に、同ページ、１６番、１１ページ、５７番、放課後こども教室ですが、令和５年度以降、事業自体は継続し実施いたしますが、施策の内容や方向性が文化振興方針からずれているため計画から外す予定としています。

次に８ページ、３９番、芸術鑑賞会ですが、小学校においては、例年芸術家や劇団等の派遣による芸術鑑賞会を実施しています。児童が質の高い文化・芸術に直接触れられる好機となっています。また、全小学校において謡曲合唱団による謡曲「高砂」の授業を実施しています。

次に、１０ページ、５２番、ＡＬＴの派遣です。ＡＬＴの派遣ですが、ＡＬＴを高砂市立小学校、中学校に派遣することにより、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の素地となる資質・能力の育成を図っています。現行の学習指導要領においては、互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動が一層重視され、「話すこと・聞くこと」の技能の育成が求められています。ＡＬＴに関しては派遣活動が授業における指導力の向上にも係る研修を行い、人材育成を実施しているところです。教育委員会におきましても、指導主事が学校を訪問し、ＡＬＴ活動の様子を見ています。令和３年度は小学校に６人、中学校に３人の合計９人のＡＬＴを派遣しています。

次に、同ページ、７３番、高砂ゆかりの人物の顕彰でございますが、本年度は、高砂学講座編において、没後２００年を迎える『山片蟠桃』をテーマに講座を開催し、知っていただく機会を提供できました。１２月２８日よりＹｏｕＴｕｂｅ動画を投稿しており３３回、現在ご視聴いただいております。ご意見をいただきました工楽松右衛門については、今後の事業として文化教室の実施を検討いたします。

次に、１８ページ、９８番、文化まつり事業ですが、来年度には文化連盟のロゴマークを作成し、文化連盟活動を幅広く周知したいと考えております。

次に、２６ページ、１４６番、市民提案型地域協働推進事業「夢の代」補助金については、団体設立支援事業５件、活動団体支援事業１０件、地域活性化事業２件と目標を数値化し取り組んでいくとのことでございます。

次に、２７ページ、１４８番、公民館使用料の減免ですが、公民館使用料の減免使用料は高砂市立公民館運営規則に基づいて引き続き適切に運営していくが、減免件数を目標として定めることは、安易な減免適応につながる恐れがることから廃止するとのことです。

次に、３０ページ、１６８番、文化団体のコラボレーションですが、異なる分野や団体のコラボレーションにより、多様な文化や考えを受け入れ交流するものです。「市美術展」において美術作品を背景にロビーコンサートを実施し、多くの来場者を呼び込んでおります。本年度はギターのコンサートを予定しております。

次に、３１ページ、１７０番、東播磨文化団体連合会事業でございます。今年度は、高砂市にて東はりま大茶会を開催予定となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。また、令和４年度以降について継続と記載させていただいておりますが、兵庫県芸術文化課が東播磨文化団体連合会に交付する補助を減額するとの報告がございました。兵庫県の予算については、詳細事項が現在のところ決定されておりません。方向性が確定次第報告させていただきます。

５ページ、２８番の文芸誌「東はりま文化子午線」の発行についても同様となっております。

次に、３２ページ、１７４番、１７５番、１７９番、ラトローブ・デイ～国際交流バーベキュー～、国際交流バス旅行、国際文化交流会、国際交流講演会は、本年度は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。

簡単ですが、説明は以上でございます。

○会長

ありがとうございました。今ご説明いただきました。

私もう一つの資料、各委員からいただいたご質問も拝見しておりましたので、ご質問に対するご回答を含めて詳しくご説明いただいたと思います。

また、改めまして比較的予算規模の大きな事業については、あるいは見直しをされている事業については、どのようなものであるかというところのご説明をいただいたかと思っております。

今のご説明についてのご質問、あるいはほかの部分です。取上げてなかった部分のご質問についてでも結構でございますので、何かございましたら、どうぞ挙手の上ご発言くださいませ。いかがでございましょうか。

○副会長

先ほど、課長からありましたが、東播磨文化団体連合会に対しての令和４年度、令和５年度、令和４年度は案ですけども、６３万円減額されて、令和５年度は７８万円ほどが減額されることになってきています。それでこの間、文化連盟の三役と話し合って、確かに阪神淡路大震災後の緊急経済の中で、非常に兵庫県の経済厳しいのは分かるのですが、即文化のところを削るというのではなく、最後に文化を削るのだといいのですけれども、即文化のほうを削るという格好できている。それは怖いなと思って、三役の中ではとりあえず知事に対して文化を平等に削っていくのではなしに、文化は人に勇気とかを与えるものなので、そこのところに対しての配慮をしてほしいという姿勢を示しておかないと、これからどんどん削れるのではないかという話が出てきております。即こういう動きになってきているということで、少し文化に携わっている者としては怖い感じをもっています。

以上です。

○会長

補足のご説明ということで承りたいと思います。先ほど副会長からございましたが、これは文化連盟としてのご活動ということでよろしいでしょうか。

○副会長

はい、そうです。

○会長

例えば文化連盟には、もちろん文化の携わる方が中心であって、いわゆる当事者を含めるとして県、行政のほうに現状を伝えていきたいという姿勢がある、ということで、補足のご説明ありがとうございました。

ほかにご質問、ご意見ございましたら。委員、お願いいたします。

○委員

この回答ですけども、資料１の５２番です。ＡＬＴの派遣事業ですけども、これ事業の中でかなりＡＬＴの派遣の先生方というか、助手というのですか、この方たちの働きが、どの程度されているのか私はすごく疑問なんです。そして資料を読んでおりましたら、給食を一緒に食べたりとか、そんなところでも時間を割いて、それは附属ですから、やっぱり主のところへもって行っていただかないと困ると思います。付属は授業の中の、生徒の中に入って行きません。ですから、そこのところはどんなふうになっているのか教えていただきたいと思います。やはり教えるという指導は、その先生によって生徒たちの覚える速度が違ってきます。少ない先生が一生懸命やってくださっているだろうと思いますけれども、その取組に対して教育委員会さんはどのようにお考えになっているのかと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。

先ほどご説明の中では、５２番のＡＬＴの派遣について人数のところはご報告があったわけですけど、実際の具体的な中身と言いますか、どのようなことをされているのかというご質問でよろしいですか、ご回答としては、いかがでしょうか。事務局のほうでもしご回答いただけたら、分かる範囲で結構でございますので。

○事務局

ＡＬＴは小学校に６人、中学校に３人ということでご説明申し上げたのですけども、それぞれが学校に入りまして、小学校３、４年生では外国語活動という形でやっております。５、６年生からは教科になりまして、小学校でも教科書を用いた授業がスタートしているということで、まず、小学校段階におきましてはＡＬＴを、派遣ですけども、派遣会社ですごく教育されたネイティブな人たちが学校に来ていただいております。私たち行かせていただいて見る中でも、とても力のある方々で授業も子どもたちの本当に輝く笑顔を引き出しながら活動的に事業を進めていただいております。

重視しているのは、子どもたちが英語を使って、考えて語ろうとするところを大事にするとしております。小学校の間にとにかく単語を覚えるとか、文章が書けるとか、そういったことではなくて、英語を使ってコミュニケーションする楽しさというのを感じさせるところを重視しております。３、４年生でそういった活動があって、５、６年生、教科書があるのですけども、やはり５、６年生でも同じように、しっかりと英語を使う喜び、話す喜び、聞く喜び、そういったことをしております。また、中学校も同様に引き継いでいくわけですけども、中学校では入試に向けてということもあるのですけども、やはりしっかりとした語学力を身につけさせていく

ということで、中学校の英語教師とも連携しながら、どんな授業をすれば子どもたちの力を伸ばせるのだろうということでやっております。

その中パフォーマンステストというのがあるのですけども、そのＡＬＴが教師と子どもの会話を見て、その会話の様子、パフォーマンスの様子をテストするということで、子どもたちを見て、それで駄目だというのではなくて、じゃあ、もう少し改善したらもっと子どもたちのパフォーマンスを引き出せるというふうにできるということで、本当に生きた英語に直接触れて語る喜びとかを伸ばしていくということで進めていってます。

つい最近も、中学校の英語教師に尋ねたのですけども、小学校で英語がどんどん進んでいく中で、変わりましたかと１年生で入ってくる子、大きく変わっていると、やはり以前の子どもたちより英語を自然に語ろうとするということ、まだまだ書くところは中学校のレベルに当然行ってないけれども、語ろうとするとか、アレルギー起こしていないとか、そういったいい面でたくさん出てきているところで、本当にＡＬＴ頑張っていただいているところです。

すみません。長くなりました。

○会長

どうもありがとうございました。

○委員

今のお話を伺いまして少し安心いたしました。

そして本当に単語を知らなくても、何とか自分で話をしてく、日本人は話し下手でなかなか外国へ行ってできないと聞いておりますから、やはりその方向にどんなところに行ってもしゃべれると、単語が分からくてもパフォーマンスをしながらしゃべって行ける。そういうふうになればすごいいいなと思います。本当にありがとうございます。

○会長

ありがとうございました。

ほかいかがでしょうか。何か、先ほどご説明いただいたところ以外でお気づきの点でも結構でございますので、よろしくお願いいたします。

○委員

３９番です。小学校の芸術鑑賞会どのようなものですかと回答いただいているのですが、具体的にどういったものかを教えていただきたいのです。小学校において謡曲の授業ですけどもどういった感じのものか、子どもたちが実際に謡えるようになっているのか、具体的なところを教えていただきたいのですが。

○会長

いかがでしょうか。

○事務局

事務局です。まず、芸術鑑賞会ですけども、実は、令和２年度におきましてはコロナ禍ということで、なかなか実施できないということもありまして、実施できた学校数は少ないのですけども、ある学校では太鼓と津軽三味線のコラボといいますか、そういった本物に触れるという鑑賞会を行っております。

また、ある小学校では神奈川フィルハーモニー管弦楽団ですか。そこに来ていただいて実際の管弦楽に触れるということも行っております。それ以外にも、コロナがなければ本当に各学校しっかりと子どもたちに、そういう体験を本物に触れさせてやりたいということでいろいろあるのですけども、例えば日本舞踊ですとか、オペラですとか、ミュージカル、それから劇団、落語、それからジャズですとか、そういう音楽とか、本当多岐にわたるものを、その子どもたちに応じてといいますか、触れさせてやりたいと思うものをしっかり企画しまして、実施しているところです。また、コロナが終息しましたら各校でしっかりと行われていくものであると思います。小学校だけではなくて、中学校でもどんどん実施しているところです。

あと、すみません。謡曲「高砂」につきましては、ずっと長く全１０校、それから中学校６校、全校でずっと続けてやっているところです。コロナによる影響が昨年度もありました。その中で、例えばリモートでもやろうということで、先生が協力してくださりまして、感染症予防のためリモートで、遠隔でやっていただいたりとか、とにかくやって行こうということを継続しています。今年度につきましてはリモートではなくて、対面で何とか工夫してやってきているところです。去年の経験を基に、ただ子どもたちがみんな謡えるところまではなかなかいかないのですけども、でも、やはりこの謡曲にしっかり触れさせていくところで、非常に貴重な１日になっているのは確かです。

○会長

ありがとうございます。

いかがでしょうか。

○委員

ありがとうございます。

小学校のは県民芸術劇場に出向くということでしょうか。

○事務局

はい、それもございます。

○委員

中学校は今されてませんよね。

○事務局

はい。

○委員

芸文へ直接聞きに行くという、そういう活動ですか、中学校は。

○事務局

中学校のほうはそうです。何かつてのおありのところで劇団さんにお声かけしてきていただいたりですとか、それから、あと国もこういう県民芸術劇場的な事業をやっておりますので、補助事業があります。その国の事業を活用させていただいてやっているところも多いです。先ほど申し上げました神奈川フィルは国のほうの補助事業を活用した小学校の実施だったのですけど、中学校でもそんなふうに実施しているところです。

○委員

ありがとうございます。

コロナ禍ということできなかったところあると思いますけど、そしたらこれまでは大体、各学校が必ずといっていいほど実施してきたということですね。

○事務局

ただ、全校までは行ってないです。

○委員

はい、今後ともよろしくお願いいたします。

○会長

どうもありがとうございました。

どうしても子どもとか、教育に関わることが多いのですけども、それ以外にも産業面でこれから生かしていかなきゃいけないとか、観光とか、そういった側面も、今日あまりご説明の中にはなかったのですけども、何か事業など見られて質問等ありましたら、お願いいたします。

（「なし」の声あり）

○会長

よろしいでしょうか。もしどうしても、あとで気がついたところがありましたら、あとでまた事務局にお申し出いただきまして、ご回答をいただきたいと思います。今、ご質問に対してご説明いただいた部分、確認したい部分を確認させていただいたということでございます。どうもありがとうございました。

議題の２番目でございます。文化施策に関する市民アンケートについてということで、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。資料３をご覧ください。

前回の審議会書面審議において、皆様からいただきましたご意見を基に、市民アンケートを実施しております。平成２５年３月に策定した文化振興基本方針に基づく進捗状況調査及び令和４年度に策定予定の文化芸術推進基本計画の基礎情報として、無作為に抽出した市民１８歳以上の男女１，０００人に対し、文化施策に対する意識調査を行っております。

また、アンケート集計結果につきましては、集計が整い次第ご報告いたします。

○会長

すみません。本来であればアンケート結果を皆さんの前でお示ししながらご説明すべきところではあるのですけども、これ見ていただいたら分かりますけども、１月２１日が締切りですので、今日はまだ回答を待っている段階ということで、集計が出ているわけではないのですが、今、こちらのアンケート、もしかしたらお手元に届いたという方もおられるかもしれませんが、ご覧いただいて、ご質問、ご意見ございましたらお伺いしたいと思います。いかがでございましょうか。

今回、紙での回収と合わせて、ｅ－ひょうごからも回収をするという方向で、これは総合計画のアンケートでも、そういうところを使わせていただいて比較的若い方の回答が多かったということで、特に、若い方が市政に関するアンケートはなかなか回答してくれないということは課題なわけなので、こういう方法を今回使っております。個人的にはアンケートの設問数が多いなと思ってて、最初に計画をつくったときの倍近くに増えているので、回答が大変だなと思いました。この後議論出てまいりますけども、公共施設全体最適化計画も含めたご意見を聞いておりますので、どうしても内容が多くなっています。ご説明のことですが、何かご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○会長

では、今これ進めているということで２１日が回答期限、消印有効等でございますので、実際には２月、１月いっぱいに回収して、それから解析に当たると、そういう予定になろうかと思っております。

次に進めたいと思います。

その他でございますが、先ほども少し触れましたが、

高砂市公共施設全体最適化計画ということで、これも事前に皆様にお渡しはしておりますし、パブコメ等とっておりますので、皆様もご存じのこととは思います。国が、いわゆる公共施設の人口減少に合わせた形での見直しという方針を出しておりまして、どの自治体様も同じような計画をつくられているということでございます。特に、国が急ぐのは学校ですとか、公共施設、公営住宅といったところですが、もちろんそれ以外にも文化施設というのは当然この回答に入ってきます。

先ほど副会長から県の、いわゆる補助のメニューについての話も出ましたけども、県も今文化施設の管理の在り方については、見直している状況でございます。そういったこともあって皆様のご意見も貴重だと思っておりますので、この機会を捉えてご意見を賜りたいと思います。

そうしましたら、ご説明のほどよろしくお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。これまで平成２８年度から、今後の市の文化施設の在り方について、当審議会においてご意見をいただいておりました。昨年度末、令和３年３月におきまして「高砂市公共施設等総合管理計画」に基づく全体最適化計画が策定され、市全体の公共施設の在り方を整理する中で、文化施設の今後の方向性についても示されておりますので、ご報告申し上げます。

資料の高砂市公共施設全体最適化計画をご覧ください。

高砂市公共施設全体最適化計画は、公共施設等総合管理計画（計画期間、平成２９年度から令和１８年度）のうち、公共施設にかかる整備計画を示したもので、公共施設等総合管理計画の中間見直し年度、令和８年度に合わせ、前期６年間を「第１期全体最適化計画期間」と位置づけた上で、同年度に第２期計画策定に向けた諸調査を行い、必要に応じて計画の見直しを行うものです。

文化会館、文化保健センターにつきましては、令和４年度に文化保健センター１階跡地の施設活用について決定し、令和５年度に文化会館との統合、建て替えを計画する予定です。また、文化会館及び文化保健センターの建て替えまでに１０年以上は必要であるため、施設を適切・安全に維持・運営していくために必要な修繕を行います。

また、文化施設ではありませんが、ご質問のありました中筋老人憩の家につきましては、地域の集会所と同様に、建物は老朽化のため無償譲渡ができても、土地については無償譲渡ができないため、地域で買い取っていただく必要があり、この内容については、自治会長にお伝えしており協議を行っているとのことです。

説明については以上です。よろしくお願いします。

○会長

どうもありがとうございました。

先ほど申し上げましたように、公共施設全体の管理の在り方と、それとそれに関わりまして、どうしても文化施設にも建替えの問題が出てくるということで、特に大きなところが高砂の場合は文化会館、文化保健センターとございますので、そのあたりも含めてご説明いただきました。

それからあと、事前にご質問、これは委員からですか。それについてのご回答でございます。

ただいまこれにつきましてご意見いかがでしょうか。あるいはご質問でも結構でございます。いかがでしょうか。

先ほど、副会長からも出たのですけども、例えば公営住宅とか、学校、施設というのは、ある種定員管理というか、定員で何人学校に入学して、一人当たりどれだけの平米が必要かという、こういう計算ができて、こういう最適化という議論がなり得るのですけども、文化活動というのは一人の人がどれだけの文化活動するのかというのは、なかなか分からないといいますか、正直に言うとこれから自由時間が

増えていく中で、特にＩＣＴが普及する中で、自由時間が増えて、恐らく文化に割く時間というのは増えるかもしれないと考えています。そうしてきますと、先ほど言った人口がどれだけ減って一人当たり、これだけの面積が要るから最適な面積は計算できますよというのとはちょっと違った部分というのがあると思っています。

ですから、その中でこの最適化という考え方は、面積をどうするかというだけではなくて、やはり使いやすくしていくのか、そういったものが多分これから必要なのかなと思っておりますので、ここにおられる皆様方も、これまでの文化施設等をお使いになっておられて、こうしたらもっと使い勝手がいいだろうということについては、審議会の場でいろんなご意見伺っておりましたけども、また、お気づきの点等ございましたら、何なりとお申し出ていただき進めていきたいと思います。

文化活動というのはお金のかかるところもありますし、かからないところもあります。そこもなかなか多様でございまして、行政がどこまでそれに関わるのか、そういったことについてもいろんなご意見があることは十分承知しております。ただ、方針にありますように、やはり舞台を整えていくのは非常に重要なことですし、市長も最初におっしゃっていただいたように、高砂にある文化、歴史というものをちゃんと受け止めて、次の世代に伝えていくことも非常に重要でございます。

そのためにも先ほど申しましたように、こういった施設というものが、市の役割としてこれからも継続していかなければいけないと思いますし、そのためにも何度も言いますように、使い勝手がいいといいますか、皆様が文化芸術の舞台として使っていただけるようになることが、本来の最適化の最大の回答ではないかと思っておりますので、今後こういった機会がございましたら、ぜひともご忌憚のないご意見を賜りたいと思います。

ほか何かこれにつきましてよろしいでしょうか。委員、お願いします。

○委員

アンケートの内容ですが、６ページの、例えば２９あたりは意見を出し合ってると思うのです。でも、この４ページの１９あたりなどは温泉施設、市内に必要と思ってもできるのかなとか。美術館・博物館、必要だと思っても作ってくれるのかなとか。７ページあたりの大ホールの座席数はどれがいいでしょうとか聞かれても、発表される方々によってもちろん違うと思うのですが、一般的に利用なさってない方ってなかなか分かりにくい、だからこれを聞く意味というのか、回答したからといって、それに答えてくれるのかなという質問が、何のためにしているのかなという感じのするところが少しございます。

そのあたりは、これまだ集計ができてないということですが、以前にもアンケートとられてます。どういう市民の意識の違いになってきたのか、アンケートをとったことによって希望に答えられるようになってきているのか、そのあたりご回答をお願いしたいのですが。

○会長

まず、以前のアンケートと先ほど言っていたのは、文化政策に関する方針を聞くことが目的だったものですから、温浴施設の部分ですとか、それから施設のことについては入っていなかったので、なぜこれ聞くのというところについては、まず事務局からご説明いただければと思います。よろしくお願いします。

○事務局

事務局でございます。こちらですけども、先ほど報告いたしました高砂市の全体最適化計画について関連しているところでございます。

文化会館、文化保健センターが将来減築して統合という市の方針が示されております。その中で、今後高砂市の文化の中心となる文化施設の文化会館をどういう形で計画していくかということで、当審議会にも今からご意見を賜りたいところですけども、まず、市民の方に全て希望されることを実現できるかどうかは分かりませんけれども、どういったニーズがあるのか、アンケートの機会を得まして聞かせていただいております。

新しい施設にどういったものを求めるのかという点と、あと座席につきましては委員おっしゃっておられるように、あそこの文化会館を使用したことがない方についてはちょっと分かないところではあるのですけども、大ホールを使用したことがある方でありましたら、大ホールに入ったことがあって、どういう使い方をされてということが分かると思うのです。現在の席数が１，０６６席ということで示させていただきまして、人口減少もある中、今後高砂市に必要な文化会館というのが、どれぐらいの席数のものが必要であるのかをお聞きしたいと思いまして、また、この結果によりまして、今後新しく計画をいたします文化会館に反映させてまいりたいと思います。

○会長

一つはこういった質問で、いわゆる考えて応えてくれるのかというご意見だろうと、先ほど、要するにイメージがつかめないと、なかなかそういった数字が市民の本当に望むものなのかとか、あるいは必要なものなのかが分からないというのが委員のご質問の趣旨だと思います。

私もこういう分析などをしている観点から言えば、先ほどご回答ございましたように、利用されているか、しないかということを、例えばクロス集計という形で、されているケースの場合はこうですよ、されていない場合はこうですよという形でチェックをしていくことも可能だと思いますので、そういうところを見ていただいて、使用される方だったらやっぱり今の規模を維持してほしいよね。使用されてない方は、先ほどそういう人口減少を考慮してと書いてあるから、やっぱりちょっと減らしてほしいのかなと、つまり税金との関わりがございますからそういう意見があるというあたりが明確になっていくのではないか、それらを踏まえてどのような

設計をされるのかは、これはまた市あるいはこの審議会の中でも議論させていただこうと思いますので、先ほど申し上げたように集計がまだですので、状況見ていただく中で、そういった意見をいただきたいなと思っております。よろしいでしょうか。

○委員

はい。

○会長

温泉施設はまだ分からないですけども、掘ったら温泉は出てくると思うのですけど。

○委員

やはり公民館使わないところ統合、コミュニティーセンターができるとは言え、やはり少子高齢化ということで、イメージ的にはマイナスに感じているのです。少なくとも市民の一人としまして、現在ある施設を維持するだけでも非常に高額かかると、縮小していかないといけないところで、意見を聞いて皆さんがどう考えているのかと知るのはいいのですけど、美術館、博物館、こんなん書いてあってできるのと、やっぱり思ってしまったりもするものですから、どうなんでしょうか。

ホールをつくるに当たっても意見聞くのは悪くはないかもしれないけど、結局、行政がつくっていくことであって、専門的な音響的なこととか、ホールみたいなことになりますと費用的な面、これを一般市民に聞いてもらっても分からないし、結局つくられた後で、えっ、こんなんつくられたんだ。みたいなところが、こういうスペース何に使うのよ。みたいなところが、実際問題、文化保健センターつくられた後で使い勝手悪いなとか、このスペースはどう使うんだとかが、出来上がってから分かるというのが市民側の立場なものですから、答えてどうなんだろうなというところが個人的に、すみません。会議を止めて申し訳ないですが。

○会長

どうもありがとうございました。

先ほど言った分析の仕方も少し工夫しながらさせていただきたいと思っております。

それから、もう一つ先ほどおっしゃったところでアンケートの分析の観点から申し上げると、回答しないケースもあるんです。分からないことは飛ばしているケースもありますので、そのあたりもチェックする一つの基準にはなると思っていますので。

○委員

実際問題文化会館にしたって、現在の文化会館がどう使いにくいか、どう使いやすいか、現実問題で、搬入するに当たっては高低差があって、控え室からホール、舞台に上がるときに階段がありますから、打楽器関係を運ぶのがめちゃめちゃ大変

とか、現在あるものに対しての使い勝手の悪さとか、そういうものを聞いていただいたほうが、実際に今度ホールつくるときに、そこは今度は改良してこういうものをつくったらいいなとか。ここは防音室であると言っても、２、３人しか入れない防音室使ったって、そこで何もできない、そういう状況ではなくて、実際に何かをやってもほかで防音が効いてて、練習ができるところをつくってほしいとか、実際にそういう具体的な役割、アンケートのとり方をしていただけたらありがたいと思いますが。

○会長

ありがとうございます。

これは一般市民向けアンケートと合わせて、恐らく利用者向けの調査、ヒアリングなのか、アンケートなのかされると思いますので、また、そのとき先ほどおっしゃっていただいた意見をいただければと思います。

何かもし追加がありましたら。

○事務局

事務局でございます。先ほど会長が言われましたように、今後１０年以上先になりますけれども、じっくりと計画を固めていく中で、当然利用者の方からのアンケートはお受けしたいと考えております。今回は無作為抽出ということで、広く市民の声をということで、新しい部分について入れておりますけれども、あと現指定管理制度の中で、指定管理者がとっておりますアンケートでございますとか、現指定管理者が利用者の運営委員会的なものを設けておりますので、その中でも、ご意見をいただく中で新しい施設に反映させてまいりたいと考えております。よろしくお願いします。

○委員

お願いします。

○会長

どうぞよろしくお願いいたします。

ほか特にご意見なければ、この議題は終わせていただきたいと思います。

そうしましたら次にまいります。その他事項の次でございますが、文化芸術推進基本計画の方針についてでございます。これ実は来年度の話になるのですけども、ご説明まずよろしくお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。令和４年度に文化芸術推進基本計画の策定を予定しております。令和４年度第１回文化振興審議会において素案の審議を行う予定でございます。方針についてご意見をいただきたいと思いますので、その際はよろしくお願いいたします。

○会長

よろしくお願いいたします。最初に市長から委嘱状を頂いたときに、これいつまでか書いてないなと思いながら見ていたのですけども、恐らく皆さんに来年度以降ご意見を聞くことになるのかと思うのです。そういうことですね。

○事務局

来年度策定を予定しております。

○会長

そうですね。だからご意見聞くことになるということですね。

○事務局

はい。

○会長

ということでございますので、よろしくお願いいたします。

よろしいでしょうか。このあたり、方針でございますので、特に先ほど私も少し触れましたけども、もちろんこれ教育の問題にも関わってきますし、観光の問題にも関わってくる、実際に竜山石を使ってとか、そういう議論も声も寄せていただきました。そのこともございますので、本当に幅広く、また方針立てることに当たりましては、ご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、一応ここに書かれていることは全て終わったのですけども、何か委員からご紹介すべきことですとか、全体を通してのご質問ですとか、ご意見がございましたらお願いいたします。いかがでございましょうか。

○委員

すみません。

○会長

では、お願いします。

○委員

その他の２番のところで、令和５年度策定予定ということですけども、先ほどの博物館の件もありましたけども、高砂市の中におきましていろんな芸術家がいっぱいおれます。でも、そこの場所へ行かないとないのです。ですから、高砂市の昔から、この土地がつくられたときからのいろんな方々を一つの、一箇所に集めてそこへ行ったらみんな見れるんだよと、そんなものがあったらいいなと思う人が絶対いると思うのです。そんなん誰があるやろうとかいっぱい出ましたけども、いろんな方がおられまして、子どもたちも学ぶにつきましては一箇所へ行ってずっと見て、覚えていく、そういうのがあってもいいんじゃないだろうかと私は思います。

ですから、いろんな意見を、頭から決めつけてこれはやるんじゃないというのではなしに、いろんな皆さんの意見を聞きながら、何とかこの高砂市が人口が減っても、よその市から見ても何てすてきな、ちゃんと文化のことも考えながらされてる

から、あそこへ行ってみようという町になってくれたらいいなと思いますので、たくさんの人の意見というのは大切だと思います。いろいろ聞きまして、アンケートというのはなかなか答えにくいです。ですから、みんなの本当の意見が言えてるかどうかというのは疑問であると思います。皆さんと一緒にこのディスカッションをしている中で、そういうことかと皆さんが理解していただく、そういう場を設けることも必要なのではないでしょうか。

私は、高砂が人口が増えて、私が来たとき８万７，０００人、９万人になるよと言われていたのです。だんだん減りました。ですから、何とか高砂がすてきな町、人口も増えて、子どもたちも増えて、文化もなかなか大したもんやでと言われる町になってほしいなと願っておりますので、皆さんのディスカッションの場というのを、これからもっと増やしていかれたらいかがでしょうか。提案でございます。

○会長

ありがとうございます。

委員からいただいた意見もかなり近いところがあると思います。

委員。

○委員

この建物が建てられる以前からずっと、市役所とか姫路ももちろんそうですが、演奏できる場所、来庁された方が自然に音楽に楽しんで、親しんでいただけるスペースを作ってほしいというのはずっと言ってきたのですが。どちらに造られているのでしょうか。

○会長

まず、委員の意見も聞いてから、いかがでしょうか。

○副会長

委員の意見に賛成で、せっかく高砂これだけ歴史の町があって、工楽邸もこうやってものすごくきれいになっていって、歴史博物館みたいな格好でしていくことが必要なのかな。この間曽根神社の展示を見させてもらったのですが、あそこはふだん閉まっているのです。見させてもらったらすごいレベルの高い展示がたくさんあるし、ああいう展示も、常設展示みたいな格好で展示されていったらうれしいかなと思いました。

私が金子みすゞ記念館に行ったことがあるのですけども、金子みすゞ近代的な記念館と、それから周りに江戸時代、明治初期の建物があり、かこいが低くてかがまないと入れない家なんですけど、そこに若い人たちが店を出している。萩市の人に聞いたら萩市の年間の観光客よりも観光客が多くなったんやとそうやって言われてたのがすごく印象に残っています。高砂も観光文化国みたいな格好で、たくさん人が来る形になっていったらうれしいです。委員さんが今それを狙われて、進められていってる最中でもあるのですけども、うれしいかなと思ったりしてます。

東北の宮沢賢治記念館も行かさせてもらったのですけども、東北では大々的に宮沢賢治を中心にして盛り上げようとしています。高砂市もそういう格好で工楽さんとか、いろんな人がいるのですけども、またいろんな文物もあるので、そこをいい形で整理して総合力で高砂を引きつけるという格好になったらうれしいかなと思っています。

○会長

ありがとうございました。

委員、委員から文化集積を生かす形と、特に委員からはもっと意見を聞くような場をもっと設けてほしいと、ここは一つの場でもあるのですけども、それ以外の方も恐らく貢献されていたと思いますけども、そういうこともご意見としてお考えいただきたいと思います。これからまず方針をつくるわけですけども、方針をつくる際に、一つは恐らく市役所内での議論があるだろうと思います。

先ほど、私ご挨拶の中で申し上げましたように、行政の発想を超えた部分はどっかになくちゃいけないかと思っております。その場合は一つここなのですけども、それ以外に何か皆さんの意見を聞ける場も要るのじゃないかというご意見は貴重だと思います。

そして、それに合わせてですけども、委員からは、高砂市が持っている歴史のような総合的なものを文化力と言いますか、それを統合できる場をつくってはどうかと、播磨町でも館長されておられた。ですから、そういったご経験もあるので、そうしたご意見です。

そして委員からご質問あったので、お答えをお願いできますでしょうか。市役所内でのコンサート、確かに私も記憶してますので、おっしゃっていたと思うのですけど、それについてどうなりましたかということです。いかがでしょうか。

○事務局

すみません。以前の部分について不勉強で申し訳ございませんけども、演奏できるか、どうかという部分については分からないのですけども、ちょうどこの部屋の前の部分がグランドオープンになりましたら、もっと市民の方に親しんでいただけるスペースになっていくものだと認識しております。

昔の庁舎に「あいぽっと」という展示スペースがございました。狭いところを何とか予算をかけないで使っていただこうと考えておりましたので、そういうスペースに近いものということになっていくのではないかと認識しておりますので、また、その際に、そこに大きなテレビがあって、そこで動画を流したりということも考えられますし、演奏できるかどうかについては、また公共施設マネジメント室に確認をいたしたいと思いますので、また、後日のご回答とさせていただきたいと思います。

それから、先ほど委員でありますとか、副会長のご意見ございましたけれども、そこに行けば分かるような部分を、新しい文化会館の中に皆さんのご意見を聞いて、反映できるところとできないところもありますけれども積み上げていって、他市でそういうのができているところが先進市ではあるのではないかと思いますので、そういうところを参考にしながら、また皆さんのご意見をいただいて、そういう文化の拠点となる文化会館を、私どもとして目指していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長

どうもありがとうございました。

先ほどテレビ、生演奏がいいよなという気もしないでもないので、音響とか、それから会場の問題とか、私もその辺はよく分かりませんので、ご回答を待ちますのでよろしくお願いいたします。

ほかに何かご意見、委員、お願いいたします

○委員

意見ではありません、報告ですけども、高砂商工会議所で、毎年新春議員懇談会をやっているのですけども、去年も、おととしも、本当は高砂高校ジャズバンド部にジャズの演奏、生演奏をしてもらうことになっていたのですけども、コロナでできないということで、ビデオで演奏してもらいました。それによって生徒は練習も一生懸命できたし、非常に喜んでもらえた、そう聞いておりますので、生じゃないのですけども、そういう形で子どもの発表できたら、非常に喜んでもらったということを報告させてもらいます。

ちなみに、音楽は山電高砂駅の発着音の「Ｓｉｎｇ・Ｓｉｎｇ・Ｓｉｎｇ」と「Ａ列車で行こう」でした。

以上です。

○会長

どうもありがとうございました。

私も拝見させていただきました。大変すばらしい曲で。

○委員

なかなかよかったでしょ。

○会長

はい。確かに、ありがとうございました。

○委員

最後に。

○会長

はい、どうぞ。

○委員

昨年１２月５日にコンサートをさせていただいたのですけど、チケット何日からお渡ししますというところで、驚くほど１日、２日でなくなってしまったと、家にも問い合わせがありますし、全部の公民館回ったけど手に入らなかったと、市民の方々こんなに求めてくださってるのかと思って、昨年もそうなんですけど、コロナ禍で遠いところには行けないけれども、音楽聞きたいとか、非常にこちらがエネルギーやら喜びをいただいて、出演者も非常にいいステージをつくってくれましたし、本当にコロナ禍であっても皆さんが芸術とか、音楽とか、美術を求める気持ちというのは、本当に高い、深いものがある高砂市民だなというのを感激いたしました。また、小野のほうからとか、神崎郡からもお客さん来てくださいましたし、いろんな人たちが交流の場で高砂入ってきてくださる、コロナ禍ということもありますが、人の移動があるという、やっぱりそこに活性化があると思いますので、また、市もチケットに必ず入場整理券持って帰るだけではなくて、以前は持って帰られて来られない方も結構多かったのです。そうじゃなくて来たい人が聞けるようにしたいということで、来れなくなった方は戻してくださいというちゃんと貼り紙を文化スポーツ課の方がしてくださったのです。非常に協力的に動いてくださいまして、どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

そういうことで、会場に入れる人数が少ないので、入場券をもらったらやっぱり来るのか、返しに来るとか、そこら辺も聞く側のマナーだと思いますし、有効に使っていただきたいという感じで、これからも頑張りたいと思います。ありがとうございます。

○会長

どうもありがとうございました。

委員、委員からも文化芸術を提供する側の思いと、それから、それを受け取る側のこれからの在り方をお聞きしました。これは恐らく次の方向性だと言える一つのご意見かと思いますので、ありがとうございました。また、次年度、引き続きこういったご意見をお伝えいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

そうしましたら最後の議題でございますが。

○委員

ちょっとだけ。

○会長

どうぞ。

○委員

私、前からお願いしているのが、各委員からの意見質問一覧表というのが、まとまり次第送っていただきたいというのをお願いしているのです。というのは、質問の内容を知り、その回答に対してとか、ほかの人の意見を聞いてより何か足せるものがあればということもあってお願いしているのですけど、今見てこれに対して書

いてあることを読んで、また一々言うというか、同じこと言うのも時間の無駄なので、要望ですけども、できたら、できた時点で途中でもいいのでぜひ、私の場合はメールで送っていただいたら、もちろんこんなん郵送などする時間ないと思うのですけど、メールでいただけたら、何かより良くなるような意見があれば、言わせていただきたいと思います。それで納得すればそのままということもあるので、前からお願いしてますので、ぜひよろしくお願いします。

○会長

よろしいでしょうか。

○事務局

すみません。事務局でございます。今回反映できていなくて申し訳ございません。

回答が入った分までというのは、なかなか時間的に難しいかもしれませんけれども、皆さんの意見が集約できた時点で、こういう意見が出てますよというフィードバックは対応として考えてまいりますので、改善してまいりたいと思います。

申し訳ございません。

○副会長

せっかくですので委員も。

○会長

そうですか。では、どうぞ。そうですね。せっかく、あとで委員もお願いいたします。

○委員

今、皆さんから高砂市の施設であったりというご意見等が出てきている中で、委員さんからも工楽邸であったりという言葉が出てきたのですけど、平成３０年工楽邸、旧宅が竣工してから今年で３年ですか、２０１８年なので、２０２２年、２１年、３年という中で、コロナ禍の中でも休館しているときがあったのですけども、もう間もなく来館者数が１０万人を迎えようとしております。私、今はビューロー関係者という立場で話をさせていただいております。いろいろ職員等のいろいろ考えながら、いかにこれいろんな方が来館していただける、中の催物も含めいろんなことを考えながら整理しておりまして、コロナ禍の中であったので、これが時間が１０万人早かったのか遅かったのかというところは、一概にはなかなか言えないところがあるのですけども、３年たったときに１０万人という節目が間もなく迎えれる。ほぼほぼ市外の方が来られているところが、全体的な詳細までは見れていない、聞き取りができていないのですけども、そういう団体さんであったりという方がたくさん高砂市に訪れていただいている。

なおかつ、私が仕事柄携わらせていただいている生石神社も含め、生石神社はコロナ禍であったとしても参拝という形で、数多くの方が来られているという、観光交流ビューローとしても資料館をオープンさせまして、そちらで来られている人数、

来館していただ人数は集計できるのですけども、私近くにいてる、中で見ててもやっぱりコロナ禍でもものすごく、あれは信仰という観点から来られているのかとは思うのですけども、他府県ナンバーの車とかが、本当にコロナ禍でもたくさん来られていました。

そういう中で、高砂市って本当にいろんなところにいい場所、いい文化というか、そういうところがたくさんあるというものを、私、そういう観光に携わらせていただいて、なかなかコロナ禍に入ってしまって、思うようにいろんなことができていないところがあるのですけども、そういう面で観光に携わらせていただいているものとしては、今後もそういうところに力を注いでやっていきたなというところで、ありがとうございます。

○会長

どうもありがとうございました。

先ほども申し上げたように、文化を観光ですとか生かした今の新しい国の方針などもございますので、委員がおっしゃっていただいたことは非常に貴重なご意見かと思います。どうもありがとうございました。

○委員

委員が話されたことに非常に共感したのですけども、私、学校の中で文化を考えていく中で、このコロナというものが与えた大きな影響がありまして、今まで当たり前のように展示するスペースがあって、当たり前のように体育館等で芸術鑑賞会をしていて、当たり前のように音楽会をしていたのですけれども、コロナでそれができなくなりました。今年のうちの学校の音楽会は何とかしようということで、まず保護者１名だけが見にくるという状況で、全学年入れ替えて、職員手足りませんのでＰＴＡの方にお願いをして、ＰＴＡの方が運営を全てしていただいて、学年が変わるごとの消毒作業、楽器の消毒、保護者の席の指定、そういったことをしていただいて、今まで全ての学年をあらゆる保護者が、あるいは近隣の方が来て盛大にやっていた音楽会が、４０数名が演奏する中、それも距離をとって、子どもたちがマスクをした状態で演奏するのを、４０数名だけの保護者のために音楽会を開いたという状況の中で、それでもやる、それでも見たい、それでも子どもたちの頑張りをたたえたいという中で、手弁当で見る側が場を整えるという、この動きというのがまた新しい動きになってくるのかなと、私は美術教員を長くしてたのですけども、教育美術展もできていません。校内の作品展もできていません。でも、ホームページ上で夏休みの作品展を写真に撮って公開して見ていただくとか、何とか工夫をしながら子どもたちの表現を発信していく方法を、このコロナ禍の中でも工夫をしながらやってきている。おっしゃるとおり箱も大事です。施設も大事です。でも見たいという欲求、感じたいという欲求、表現を受け止めたいという欲求から動きをつくっていくことも、文化振興の中では大事なので、そういった動きをつくっていく

ということも、合わせてこの場でまた考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

○会長

どうも貴重なご意見ありがとうございました。

現場の声として、今日初めて聞いた言葉でございましたけども、本当にありがとうございます。特にさっきおっしゃっていただいた見る側が場を整えるというのは、言われてみれば、考えてみたらそうなんです。もともと大学もそうですけども、見たい側、学びたい側が場を整えていくというのは非常に貴重なご意見かと思いながら聞きました。

どうもありがとうございました。

これで皆さんの意見を聞けたのでないかと思います。

では、時間も押しておりますので、最後、今後のスケジュールについてご説明をよろしくお願いいたします。

○事務局

事務局でございます。来年度のスケジュールについて、ご説明させていただきます。

次回は、来年度の６月から７月の間に１回目の審議会を予定しております。令和３年度事業結果報告、令和４年度事業の経過報告を取りまとめたものについて、事前に皆様にお示しした上で、ご意見をいただきたいと考えております。また、本日ご回答ができなかった項目については、取りまとめたものを次回この会議で皆様にお示しし、意見をいただきたいと考えております。なお、開催日時については、後日調整してご連絡させていただきます。

以上です。よろしくお願いいたします。

○会長

スケジュールのこと、今ご説明いただいたとおりでございますので、どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

それでは、本日の予定は全て終了させていただきました。

進行を事務局へお返しいたします。

○司会

会長、ありがとうございました。

委員の皆様、本日はご熱心なご審議を賜り、誠にありがとうございました。

閉会に当たりまして、副会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。

○副会長

本当に熱心な協議、また、これからもそういう皆さんの意見を聞いていく討議をしていって、やっぱり文化というのは心を開く、カルチャーともつながるものです。ここでの皆さんの意見がなかったら、なかなか盛り上がっていかないところもあり

ますので、お互いに意見交換し合いながら、いや、こうしていったほうがいいんじゃないか、ああしていったらいいんじゃないかと、お互いに共有したりしながら高砂の文化、また、それがモデルケースになって兵庫県の文化振興につながっていってもいいと思います。そういう文化発信の地、高砂を築いていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○司会

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、本日の審議会を閉会させていただきます。

どうもありがとうございました。

（午後６時７分　閉会）